

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026 年 7 月 22 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	農学部・農学科
留学(渡航)した時の学年	4 年生
帰国年月日	2026 年 7 月 17 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	イタリア
留学先大学	ボローニャ大学(日本語名) Universita di bologna(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語・イタリア語 / 英語
留学期間	2025 年 9 月～2026 年 7 月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～2 月中旬 2 学期: 2 月下旬～7 月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 9 万人
創立年	1088 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ユーロ) (1 現地通貨 = 186 円)	B 日本円	備考
授業料		0 円	交換留学のためなし
宿舍費	5910	円	
食費	3492	円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	107	円	
現地交通費		円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	805	円	部活動・ジム
旅費(留学中)		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		105000 円	形態:
渡航旅費		230000 円	
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他	805	円	日用品
その他	134	円	滞在許可証
合計 ※現地通貨 および 円	11253 (=2095000 円)	335000 円	
総計(A+B) ※円	2430000 円		

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地：成田空港 目的地：ボローニャ空港 経由地：ドバイ空港	
復路 出発地：ボローニャ空港 目的地：成田空港 経由地：ドバイ空港	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：エミレーツ航空 料金：23 万円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：	
航空券購入方法	
☐ 旅行代理店(店名：) ☒ インターネット(サイト名：エミレーツ航空) ☐ その他()	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)	
☐ 学生寮(寮の名前：) ☒ アパート ☐ ホームステイ	
2) 部屋の形態	
☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)	
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 住居を探した方法：	
インターネット。ボローニャ大学から紹介された sais というサイトや、facebook の留学生のグループなどでなかなか自分の条件に合うところが見つからず、出発前にとりあえずに見つけた住居に一月住み、そのオーナーと交渉し、留学期間をここで暮らすことになりました。	
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
シェアハウスで暮らすのは初めてだったので、慣れないこともたくさんありました。でも結果的にはとても過ごしやすい環境でした。やはり、小さな街に世界中からの学生であふれているボローニャでは、住居探しをできるだけ早くから行うことをお勧めします。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

たびレジや滞在先のオーナーから情報収集しました。私はカードを紛失してしまい、不正利用されてしまったことがありました。カードのコピーや紛失時の対応方法は事前に調べていたため、すぐにカードを止めて、返金をしてもらい、カードを再発行して家まで送ってもらいました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

iliad という会社の SIM を使っていました。イタリア国外の EU 圏でも利用することが出来、接続に不満を感じたこともありませんでした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的にデビットカードにその月に使う分を送金して利用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☒ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Climate change microbiology in human health	気候変動と人の健康における微生物学
科目設置学部・研究科	Biology of human and environmental health
履修期間	秋学期
単位数	7
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式+実験室 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回
担当教授	Stefano Fedi Martina Cappelletti
授業内容	微生物が地球環境や人間の健康にどのように関わっているかを学びます。
試験・課題等	最終筆記試験
感想を自由記入	微生物が気候に与える影響や気候変動が微生物に与える影響について学びました。二つのモジュールに分かれていて、講義形式と実験のモジュールがありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Ecosystem health		生態系の健全性
科目設置学部・研究科	Biology of human and environmental health	
履修期間	秋学期	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回	
担当教授	Roberto Gazzolla Gatti Francesco Maria Sabatini	
授業内容	人間活動によって生態系がどのように影響を受けているのかについてを学び、生態系と生物多様性を守るための方法を学びます。	
試験・課題等	最終筆記試験	
感想を自由記入	フィールドワークやディスカッションなどグループでの活動なども行われるため、他の学生とのコミュニケーションは取りやすいと思います。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Environmental hygiene		環境衛生学
科目設置学部・研究科	Biology of human and environmental health	
履修期間	春学期	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120～180 分が 5 回	
担当教授	Annamaria Colacci	
授業内容	環境中の汚染や気候変動などが人間の健康にどのような影響をもたらすのかを理解し、リスクを評価し管理する方法を学びます。	
試験・課題等	最終筆記試験	
感想を自由記入	先生と生徒との距離感がとても近く、講義形式だがディスカッションをしながら学んでいくというスタイルで、楽しむことが出来ました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Viral genetics		ウイルス遺伝学
科目設置学部・研究科	Biology of human and environmental health	
履修期間	春学期	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 1～2 回	
担当教授	Laura Menotti	
授業内容	ウイルスの構造や進化、遺伝子解析、遺伝子改変技術、感染症対策などについて学びます。	
試験・課題等	講義形式	
感想を自由記入	講義内容の難易度の高さや、周りの学生の知識・理解度の高さを実感し、自分のレベルとの差を感じました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to italianculture(1)		イタリア文化概論 1
科目設置学部・研究科	Humanities	
履修期間	秋学期	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Angelo Maria Mangini	
授業内容	イタリア文化や歴史などを幅広く学びます。	
試験・課題等	最終レポート	
感想を自由記入	イタリア文化や歴史そしてボローニャについて広く学ぶことが出来ました。イタリアの美術や文学、建築、音楽、食文化などへの理解が深まりました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to italian culture(2)	イタリア文化概論 2
科目設置学部・研究科	Humanities
履修期間	秋学期
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Angelo Maria Mangini
授業内容	イタリアの文化遺産について学びます。
試験・課題等	最終レポート
感想を自由記入	イタリアの文化遺産についてさまざまな学問分野から知識を身につけることが出来ました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Plant metabolism for human health and nutrition	人の健康と栄養における植物代謝
科目設置学部・研究科	Biology of human and environmental health
履修期間	春学期
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 3 回
担当教授	Mirko Zaffagnini
授業内容	植物代謝に関する知識や、植物が光や栄養素を使うことで人間の健康にどのように影響するのかを学ぶ講義でした。
試験・課題等	オーラルテスト、ラボ試験
感想を自由記入	この講義の基礎となる知識が十分でなかったことに加え、授業で扱われる内容の理解に苦労しました。。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Environmental Physiology		環境生理学
科目設置学部・研究科	Biology of human and environmental health	
履修期間	秋学期	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 2 回	
担当教授	Elena Fabbri	
授業内容	環境の変化が生物にどのような影響を与え、それに対して生物がどのように対応するのかなどについて学びます。	
試験・課題等	最終筆記試験	
感想を自由記入	明治大学で学んだ前提知識があれば十分に理解が出来る授業内容でした。最終筆記試験の記述問題は難易度が高かったです。	



卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

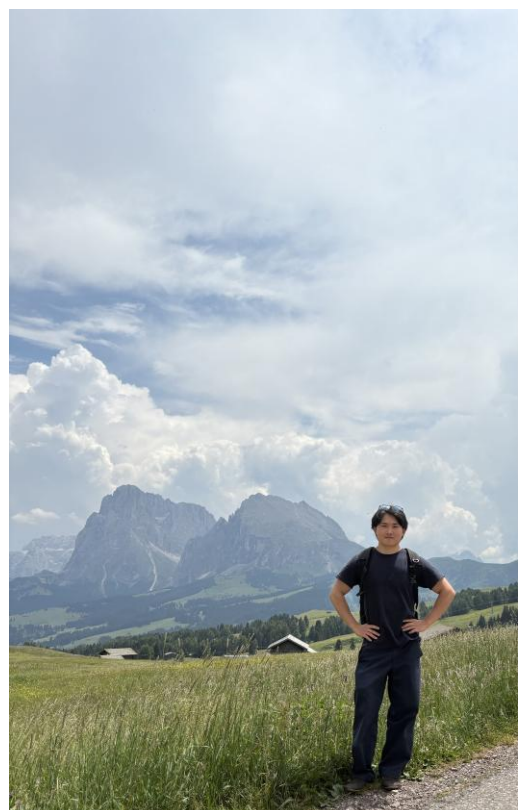


留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	IELTS の勉強
	10 月 ～ 12 月	出願・学内選考
留学開始年	1 月 ～ 3 月	学内手続き
	4 月 ～ 7 月	留学先大学の手続き・ビザ申請・航空券購入
	8 月 ～ 9 月	渡航・留学開始
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	7 月中旬帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	



留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

この留学先を選んだ理由としては、世界最古の大学で、歴史があり、英語で開講されている科目も多く、世界中の意欲の高い学生が集まっていると知り、とても興味が湧いたからです。学内選考に合格し、ボローニャ大学に行けることが決まったのはいいものの、ボローニャに留学するのは明治大生として私が初めてだったため、先輩からの情報などがなく、苦労しました。ビザの取得や住居、履修についてなど、わからないことだらけでした。他大学の先輩に話を聞くなどして情報を集めました。

特に住居探しは大変でしたので、ボローニャ大学への留学が決まり次第始めるとよいと思います。ボローニャ大学から紹介される SAIS というサイトや facebook のエラスムス向けのグループなどで探しました。小さい街にたくさんの学生であふれているためいい物件もすぐなくなってしまいます。私の場合は、住居の条件を決めすぎてしまい、なかなか家を決めることが出来ませんでした。完璧を求めすぎないことも大切だと思います。でも、住居の詐欺だったり、説明と全然違う物件だったりすることもあるそうなので、出来たらビデオで内見をしたり、オーナーの id のコピーをしっかりと確認できると安心だと思います。

私が留学前にもっとやっておけばよかったと思うことは、現地語の勉強です。英語に関しては、授業で使われるので勉強していましたが、皆さんも堪能だと思います。しかし私は、イタリア語の勉強は二の次になっていた部分がありました。しかし生活するのはイタリア。周りはみんなイタリア人で、スーパーでの買い物も、レストランでも、郵便局でも、住むとなるとやはりイタリア語が必要になってきます。その国に住むその国の人へのリスペクトとしてもその国の言語を学び、文化を理解し、協調して暮らすことが大切だと思います。たった 10 か月だとしても、イタリアに住む外国人として、イタリアへのリスペクトの気持ちを持って生活しました。イタリア語で少しコミュニケーションを取れるようになってからは、ぐっと距離が縮まるような感覚がありました。特に一緒に暮らしていた家主とは、毎日イタリア語で会話の練習をしたり、ご飯を一緒に作って食べたり、イタリア語を使う機会を増やして意識していました。

あとは留学した方はみなさん口をそろえて言いますが、日本について勉強しておくべきだということです。留学する国についての勉強は皆さんしますが、自分の住む日本について意外と知らないということに日本の外に出てはじめて気づきます。日本に興味を持っていたり、良い印象をもっている人は本当にたくさんいて、友達からも、旅先でも、レストランでもいろいろな人から日本について質問されました。しかし、正直わからないということや、考えたこともないという質問もとても多かったです。特に日本の政治についてや、日本の食文化について、日本の社会問題について、日本の映画やアニメについてなど様々質問されました。特に政治についてはしっかりと勉強していくとよいと思います。日本の政治についてどう思っているのかどんな考えを持っているのかと聞かれることはたくさんありました。自分の国について聞かれて答えられないと悔しい気持ちになります。日本のことはもちろん、留学先のことも、自分の考えをもってそれを伝えることができるように。

留学中は自分の心や体のことも管理していかなければなりません。特に食事については、節約を考えるのも大事ですが、偏ることがないように、バランスよく、その地でとれた旬の野菜や果物を取り入れることを心がけました。スーパーに行ったときは、現地の人々の買い物かごを見てみんな何を買っているのか観察して、その日の献立を考えていました。やはり食事をおろそかにしていると、日常生活の様々なことに影響が出てしまいます。勉強でもなんだか集中できないし、朝からやる気が起きなかったりすることもありました。節約ばかり考えて、体を壊して病院で高い治療費を払うのでは結局意味がなくなってしまいます。日本にいたら作らないようないろいろな料理を作って楽しんでください。

時間に余裕があるときは、イタリア国内も国外も旅行に行ってみてください。友達と行くのもいいですが、一人で行くのもいいと思います。旅先では、一人で旅している人もたくさんいて、自分も一人だと、仲良くなって一緒に旅をするようになったり、ご飯を一緒に食べに行ったりすることもありました。そんな人の話を聞くのもとても勉強になって面白いです。

留学中に日本の料理をふるまう機会や日本のお土産を食べてもらう機会がありました。イタリア人にうけたお土産は、カステラ、餅、国産はちみつ、栗きんとんでした。抹茶は好きな人と苦手な人はっきりと分かれていました。嫌いな人は魚の味に感じると言っていました。ご参考までに



